



体操の成年男子団体総合、あん馬の演技をする岡選手

# 佐賀国スポ、会期前競技始まる

競泳成年女子200メートル個人メドレー  
決勝で力泳する大橋選手



国民体育大会から改称された国民スポーツ大会(国スポ)は5日、佐賀・SAGAサンライズパークSAGAアリーナで、10月5日の開幕に先立つ会期前競技が始まった。1946年に国民体育大会として始まり、「国体」の名で親しまれてきたが、今年から世界的に広く用いられる「スポーツ」を盛り込んだ名称に変更した。体操の岡慎之助選手や、競泳の大橋悠依選手ら、パリ五輪出場選手も参加。会場を沸かせた。

2024年9月17日発行

自転車女子個人ロードレース(運動機能障害 C1~3)、ゴール直前で力走する杉浦佳子選手(右)



車いすテニス女子シングルス決勝、優勝した上地結衣選手



車いすラグビーで金メダルを獲得し、喜ぶ日本チーム

開会式で入場行進する小田凱人選手(左手前)ら日本選手団



競泳男子100メートルバタフライ(視覚障害S11)  
決勝で力泳する木村敬一選手(手前)



# パリでパラリンピック開かれる 日本はメダル41個、共生の歩みロスへ

障害のある選手によるスポーツの祭典、第17回夏季パラリンピック・パリ大会が開催された。パリ中心部で行われた8月28日の開会式では選手たちはシャンゼリゼ通りを行進。パリ五輪と同じく「広く開かれた大会」をスローガンに掲げ行われ、12日間の幕を閉じた。次回の2028年大会は米国のロサンゼルスで初開催となる。

22競技549種目を実施。史上最多となる168の国と地域、難民選手団などから約4400人の選手が集まった。

日本からは海外での大会で過去最多となる175人が参加し、メダル41個(金14、銀10、銅17)を獲得。総数で過去最多だった04年アテネ大会の52個には届かなかったが、金は前回東京大会の13個を上回った。

